

年頭の御挨拶



会 頭
佐藤 哲也

明けましておめでとございます。

平成二十二年の新春を迎え心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみすと、ようやく世界的な経済不況からの回復基調が見え始めた中で、世界的な新型インフルエンザの発生は市民生活のみならず企業活動にも大きな影響をあたえ、いまだに続いております。



新発田市市長
片山 吉忠

明けましておめでとございます。

平成二十二年の年頭に当たり、挨拶申し上げます。昨年を振り返りますと、政権交代による民主党連立政権の発足や、米国におけるオバマ大統領の誕生など、政治において歴史的な転換がみられた年でありました。しかし、これらの動き

一方では、わが国にとつては「天皇陛下ご即位二十年」を迎えた誠におめでたい年であり、当市から昨年十一月十二日の慶祝行事に新発田台輪四台が、皇居前広場でその勇姿をご披露申し上げたとご所であります。また、二順目の国民体育大会「トキメキ新潟国体」も盛会に開催され男女共総合優勝するなど、明るい話題も多くあつた年でありました。

しかし、昨年後半での円高とデフレ傾向の中で地方の経済は二番底ともいふべき景況に突入し、企業の資金繰り、そして雇用面で厳しさが一段と増し、経済全体のマインドが後ろ向きとなり、なかなか回復局面が見えてこない現状にあります。また、十数年ぶりの政権交代による民主党新政権

とは対比的に、経済における劇的な変化は見られず、企業における厳しい収益状況とそれに伴う雇用・所得状況の悪化、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況が続いたままです。

このような状況の中、当市といたしましては、緊急経済対策として市内小中学校等の修繕に係る発注を実施し、さらに、個人消費の喚起のため、二度に渡り「にぎわい商品券」を発行することで、市内の景気浮揚を図ってまいりました。また、「新発田市中

からの経済対策や新年度予算についてもまだ明確な方向性が出ていないことから、経済全体に閉塞感が漂うとともに先行きが不透明な状態にあります。

このような中、行政との連携のもと経済対策と消費拡大を目的にブレミアムのついた「新発田市にぎわい商品券」を五月に続いて十二月に発行することができ、年末年始も含めこれからこの効果が現れることを期待してるところです。

また、今まで経験したことのない経済環境であることから、当所として地域経済が抱える現状と課題を把握し、市内三商工会とともに、平成二十年十二月に施行された「新発田市中企業活性化推進基本条例」の遵守並びに運用面での徹底と地域

企業活性化推進基本条例の趣旨に基づく地元中小企業の育成・支援策として、市制度融資において、市内事業所への発注に係る設備資金を対象に優遇利率を新たに設定し、地元企業への発注の促進を図ってまいりました。

本年におきましても、昨年同様、景気回復への足掛かりを築くことが重要課題であると考えます。そのためには、貴商工会議所や経済団体、市内金融機関の皆様と連携を密にし、様々なご意見を頂戴しながら、市制度融資をはじめとする各種経

経済対策の早急な対応を求め、昨年十一月三十日に関係団体からの当所への要望も合わせ新発田市議会へ陳情を行わせていただきました。

今後も商工会議所は、地域総合経済団体の立場から中小零細企業の代弁者として、また相談窓口として、今まで以上にその業務推進に当たっていく所存であります。

最後に、この厳しい経済状況を乗り越えるため、「会員から信頼され」「市民から親しまれ」「行動する会議所」の基本理念の基、行政をはじめ関係機関と連携を図りながら地域に密着した事業を実施してまいりたいと思っておりますので、皆様方のお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

経済施策により、中小企業者を支援してまいりたいと考えております。

政権交代に伴い、今後の政策に関しましては、見通しが不透明な部分もありますが、新政権下で実施される各種施策や諸制度の見直し等の動きを注視し、その変化に迅速に対応してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、新発田商工会議所のますますの飛躍と、会員の皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。